

平成29年度決算見込の概要



三木市 Miki City

目次

- 1 一般会計の決算総括
- 2 一般会計の決算内訳
- 3 一般会計の市債残高と基金残高の推移
- 4 指標
- 5 特別会計の決算
- 6 企業会計の決算

(参考) 北播磨総合医療センター企業団の決算

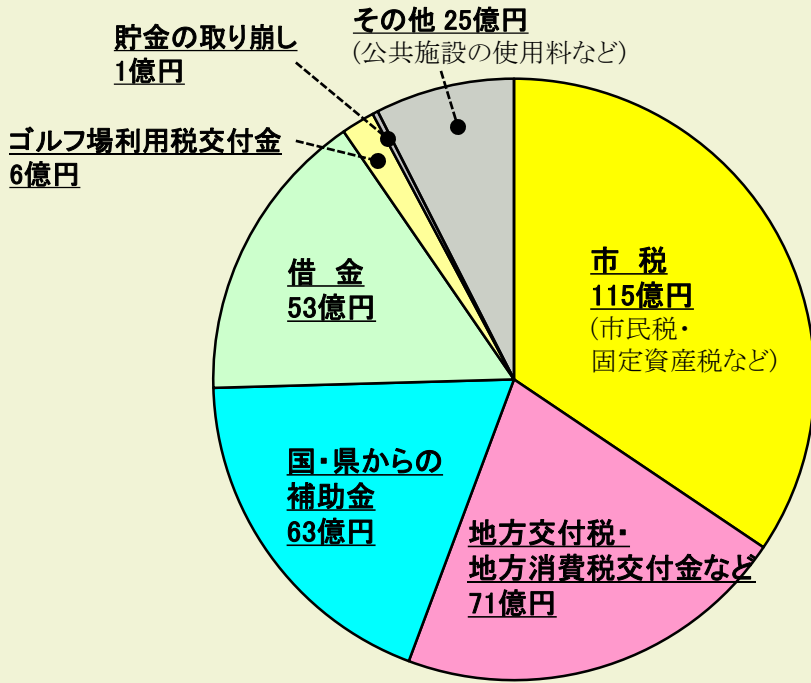
1 一般会計の決算総括

- 平成29年度は、3～5歳児の保育料無償化など「子育て支援策の充実」や、総合体育館・みきっこランドの建設など「まちのにぎわいづくり」に重点化。
- 総合体育館建設事業(約12.6億円)や、過去の市債の借り換え(約13.3億円)などにより、支出額が前年度に比べて約25.4億円増加し、決算規模は過去2番目。
- 一般会計の決算見込は、収入と支出の差引額は約2.1億円であり、翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質的な収支は約1.0億円の黒字。

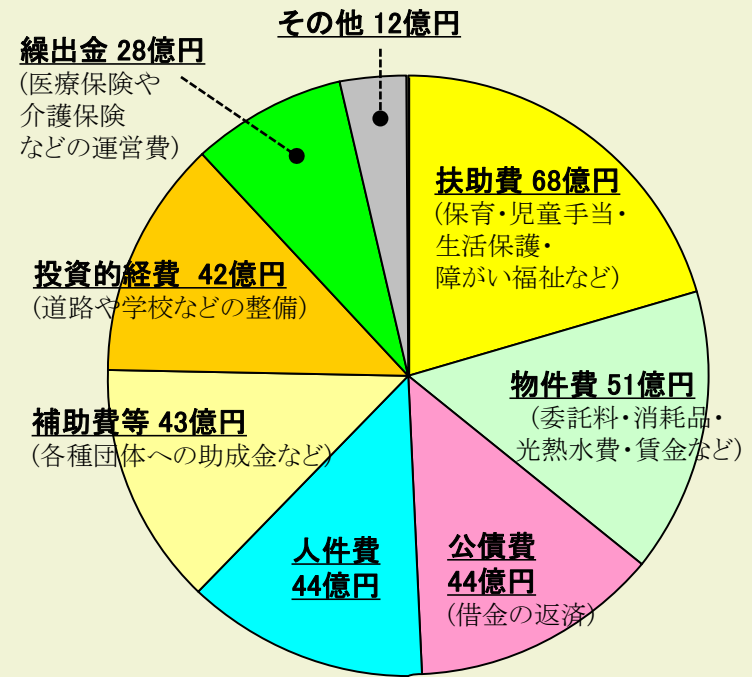
区 分	平成29年度 決算見込額 A	平成28年度 決 算 額 B	増 減 額 (A - B)
収 入 額 ①	334億4,981万円	310億3,256万円	24億1,725万円
(うち基金繰入額)	(1億円)	(1億円)	(増減なし)
支 出 額 ②	332億3,725万円	306億9,266万円	25億4,459万円
収支差引額 (① - ②) ③	2億1,256万円	3億3,990万円	△ 1億2,734万円
翌年度へ繰り越す財源 ④	1億1,134万円	2億5,465万円	△ 1億4,331万円
実質収支額 (③ - ④) ⑤	1億 122万円	8,525万円	1,597万円

2 一般会計の決算内訳

歳入(334億円)



歳出(332億円)



決算の特徴

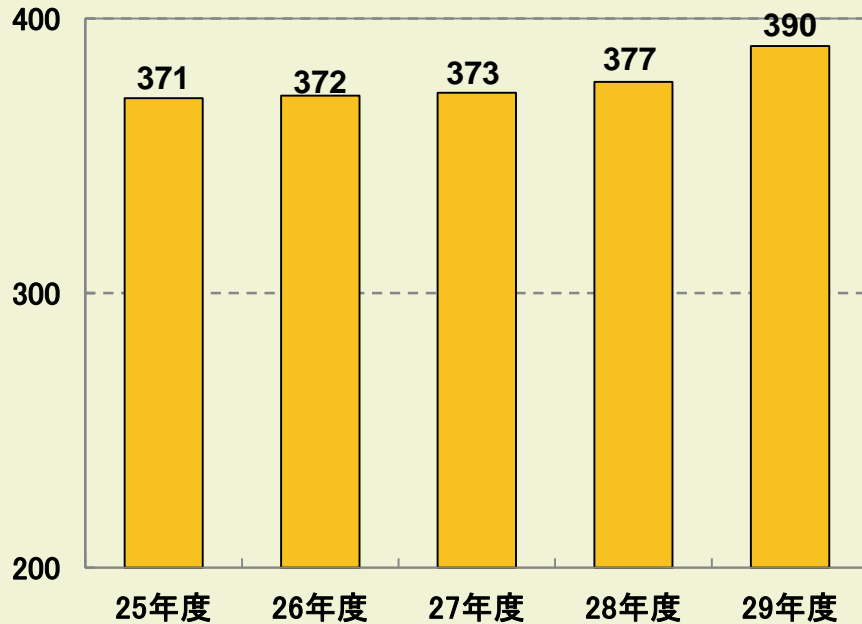
- 新築家屋の増加や、大型レジャー施設の設備充実などで、市税収入が前年度より2億円増加
- 合併特例加算の縮小などで、地方交付税が前年度より2億円減少
- ふるさと納税寄附金は前年度並の1.7億円を確保

- 3～5歳児の保育料無償化など就学前教育・保育の充実などで、扶助費が前年度より4億円増加
- 10年前に借り入れた市債を借り換えたため、公債費が前年度より12億円増加
- 総合体育館建設などにより、投資的経費が前年度より9億円増加

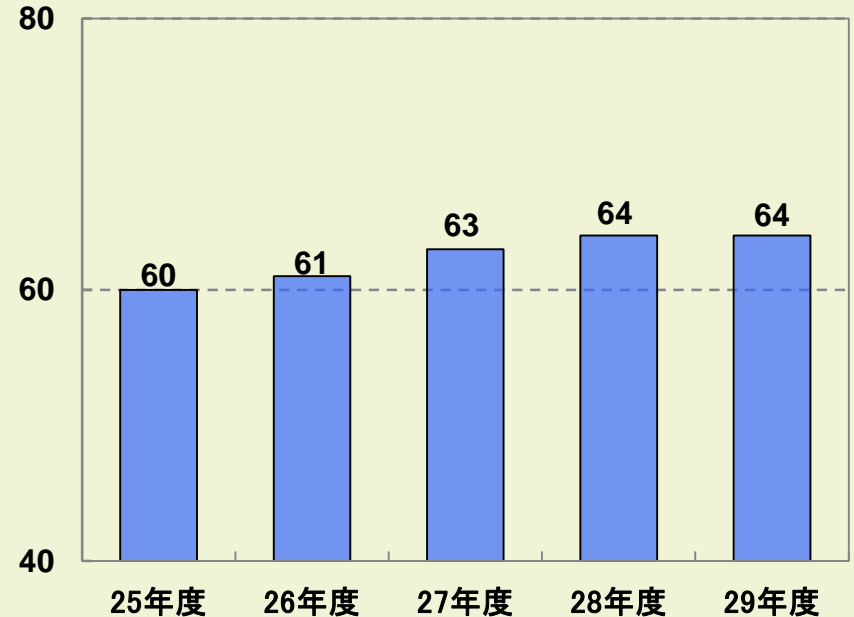
3 一般会計の市債残高と基金残高の推移

- 市債の残高は、総合体育館の建設などで、前年度より13億円増加の390億円
- 基金の残高は、前年度決算の黒字額や、ふるさと納税などを基金に1億円積み立てる一方、三木創生のための各種事業などに活用するために1億円取り崩したことにより、前年度と同額の64億円

市債残高 (単位:億円)



基金残高 (単位:億円)



4 指標

- 実質赤字比率・連結実質赤字比率は、黒字決算のため該当なし
- 実質公債費比率は3.8%であり、前年度から1.1%低下
- 将来負担比率は45.0%であり、前年度とほぼ同水準
- 経常収支比率は、物件費や扶助費などの支出の増加により0.5%悪化

(単位：%)

区 分	三 木 市			国の定める基準値	
	29年度 (A)	28年度 (B)	差 引 (A-B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実 質 赤 字 比 率	—	—	—	12.57	20.00
連 結 実 質 赤 字 比 率	—	—	—	17.57	30.00
実 質 公 債 費 比 率 (3 か 年 平 均)	3.8	4.9	△ 1.1	25.0	35.0
将 来 負 担 比 率	45.0	44.7	+ 0.3	350.0	
経 常 収 支 比 率	91.2	90.7	+ 0.5		

「—」は、黒字決算のため該当なし

5 特別会計の決算

- 特別会計は、全会計が黒字決算
- 国民健康保険特別会計は、国・県補助金の概算交付制度により、本来の額よりも多く収入されたため、1.1億円の黒字（過大交付分は平成30年度に返還予定）
- 介護保険特別会計は、介護予防に向けた取り組みを進めたことなどで、計画よりも介護給付費の伸びが抑えられたため、3.2億円の黒字

区 分	平成29年度決算					(参考) 平成28年度 実質収支額
	収入額 (A)	支出額 (B)	収支差引額 (C=A-B)	翌年度へ 繰り越す財源 (D)	実質収支額 (E=C-D)	
国民健康保険	109億7,280万円	108億6,553万円	1億 727万円	0	1億 727万円	535万円
介護保険	69億6,797万円	66億4,961万円	3億1,836万円	0	3億1,836万円	2億7,482万円
農業共済事業	6,225万円	6,224万円	1万円	0	1万円	56万円
後期高齢者医療事業	11億8,919万円	11億5,496万円	3,423万円	0	3,423万円	2,617万円
学校給食事業	2億8,291万円	2億8,220万円	71万円	0	71万円	19万円

6 企業会計の決算

- 水道事業会計は、収益面で大口需要家などからの収入が増加したことにより給水収益が増加するとともに、費用面で職員給与費などが減少したため、当年度純損益は約3.2億円の黒字
- 下水道事業会計は、収益面で有収水量の増加により使用料収入が増加する一方、費用面で吉川浄化センターの設備更新工事に伴う資産減耗費が増加したことなどにより、当年度純損益は約1.0億円の黒字

区 分		平成29年度			(参考) 平成28年度 収支額
		収入額 (A)	支出額 (B)	収支額 (C=A-B)	
水道事業	収益的収支	18億6,294万円	15億4,249万円	3億2,045万円	1億9,515万円
	資本的収支	1億3,199万円	3億9,451万円	△ 2億6,252万円	△ 6億 214万円
下水道事業	収益的収支	24億7,755万円	23億8,249万円	9,506万円	2億 806万円
	資本的収支	19億3,151万円	25億6,889万円	△ 6億3,738万円	△ 9億 227万円

(金額は税抜き)

(参考)

北播磨総合医療センター企業団の決算

- 入院・外来の患者数・平均単価ともに前年度を上回ったことから、経常損益は7,074万円の黒字となり、純損益も5,469万円の黒字
- 安全安心な医療の提供と患者満足度を高めるとともに、各種加算の届出による収益確保や材料費の単価引下げなどの経費削減を推進

区 分	29年度 (A)	28年度 (B)	増 減 (A-B)
病院事業収益	163.1億円	153.8億円	9.3億円
うち入院収益	101.3億円	94.7億円	6.6億円
うち外来収益	34.5億円	30.5億円	4.0億円
病院事業費用	162.6億円	153.7億円	8.9億円
うち職員給与費	65.9億円	63.4億円	2.5億円
うち材料費	42.9億円	38.6億円	4.3億円
経常損益	0.7億円	0.2億円	0.5億円
純 損 益	0.5億円	0.1億円	0.4億円

項 目		29年度 (A)	28年度 (B)	増 減 (A-B)
入院	患者数 (1日当たり)	395人	391人	4人
	平均単価	70,169円	66,296円	3,873円
外来	患者数 (1日当たり)	958人	927人	31人
	平均単価	14,755円	13,548円	1,207円
内部留保資金		2.6億円	1.4億円	1.2億円

(数値は税抜き)